

はじける2632枚花火の絵

宇都宮のろまんちっく村

大会前に園児作品展示

【宇都宮】8月11日に開会を前に、市内の保育園
かれる「うつのみや花火大」・幼稚園児らが描いた花火園児たちが描いた花
火の絵2632枚が展示
されたの絵2632
2枚が30、
1日の両
日、道の駅
うつのみや
ろまんちっ
く村(新里

町)で展示された。

会場では、同大会のマス
コットにちなんで曲などを
公募して決められた「みや
どんダンス」も初めて披露。
会場は両日合わせ、家族連
れなど約3500人でにぎ
わった。NPO法人「うつのみや
百年花火」が呼び掛け、85
園が応じた。会場には、割
り箸を用いて描いた作品や
貼り絵にした作品など、応
募作品全てを展示。自分の
描いた絵の前で家族に写真を撮ってもらう園児の姿も
見られた。同法人ではハートや星、
笑顔などを描いた10作品を
抽選で選り、実際の大会で
花火として打ち上げる。描いた作品が打ち上げら
れることになった下岡本
町、保育園年長の竹内終
希ちゃん(5)は「きれいで
大好きな虹の色を使って
描いた。自分の花火が上
がることになって、うれし
い」と喜んでいた。
(鈴木直志)